



平成 25 年度 佐賀大学公開講座  
映画で学ぶヨーロッパの文化  
— フランス篇 —



ヨーロッパ文化の最大の拠点であるフランス。そのフランスの文化、歴史、ファッションを、代表的な映画によって学ぼうという講座です。もと「キネマ旬報」パリ駐在員が、フランス各地の特色を語ります。またなぜその場所なのか？という映画の意味も、併せて解説。フランス旅行が更になんか楽しくなり、仏国の更なる魅力が発見できることでしょう。

《2014年》

- ① 1月10日…北フランス・ノルマンディー「男と女」「ダンケルク」「商船テネシチー」「獣人」「霧の波止場」  
「史上最大の作戦」
- ② 1月17日…「シェルブールの雨傘」
- ③ 1月24日…ロワール河周辺「ローラ」「ロシュフォールの恋人たち」「緑の光線」「真夜中の刑事」  
「ジャンヌ・ダルク」
- ④ 1月31日…「冒険者たち」
- ⑤ 2月 7日…ブルゴーニュ・プロヴァンス「化石」「白い恋人たち」「河は呼んでる」「深い河」
- ⑥ 2月14日…「嘆きのテレゼ」
- ⑦ 2月21日…マルセイユ・アルル「フレンチ・コネクション2」「ボルサリーノ」「RONIN」「炎の人ゴッホ」  
「白い馬」
- ⑧ 2月28日…「雨の訪問者」
- ⑨ 3月 7日…コートダジュール「地下室のメロディー」「泥棒成金」「黒衣の花嫁」「カンヌ映画祭通り」
- ⑩ 3月14日…「泥棒成金」

【講 師】…西村雄一郎(映画評論家)

佐賀市生まれ。早稲田大学演劇科を卒業後、渡仏し、映画雑誌「キネマ旬報」パリ駐在員。帰国後、映像ディレクター。1985年から古湯映画祭の総合ディレクター。その功績により佐賀新聞文化奨励賞受賞。佐賀新聞コラム「シネマ・トーク」は30年以上を超え、長期連載記録を更新中。

現在、佐賀大学、龍谷短大で教鞭を執る。著書に「一人でもできる映画の撮り方」(洋泉社)、「黒澤明と早坂文雄」(筑摩書房)、「ぶれない男・熊井啓」(新潮社)、「殉愛～原節子と小津安二郎」(新潮社)など多数。2014年春には「ドキュメント『張込み』(仮題)」(新潮社)が待機中。

【場 所】…松川屋(松原神社通り・片田江バス停前)2階シアタールーム

【時 間】…毎週金曜日午前10時30分から午後1時30分(3時間)

【受講料】…10回分で10,000円(限定15名)、初回に前納のこと。

【問い合わせ先】

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学文化教育学部附属教育実践総合センター 角 和博  
TEL: 0952-28-8374 FAX: 0952-28-8374 / e-mail: sumik@cc.saga-u.ac.jp

【申し込み先】 受講希望者は、以下のところへ電話、FAXまたは e-mail にて申し込み下さい。

〒840-8502 佐賀市本庄町1番地 佐賀大学総務部総務課  
TEL: 0952-28-8113 FAX: 0952-28-8118 / e-mail: soumux3@mail.admin.saga-u.ac.jp

○随時受け付けておりますが、定員になり次第締め切ります。お早めにお申し込み下さい。